



工場日報

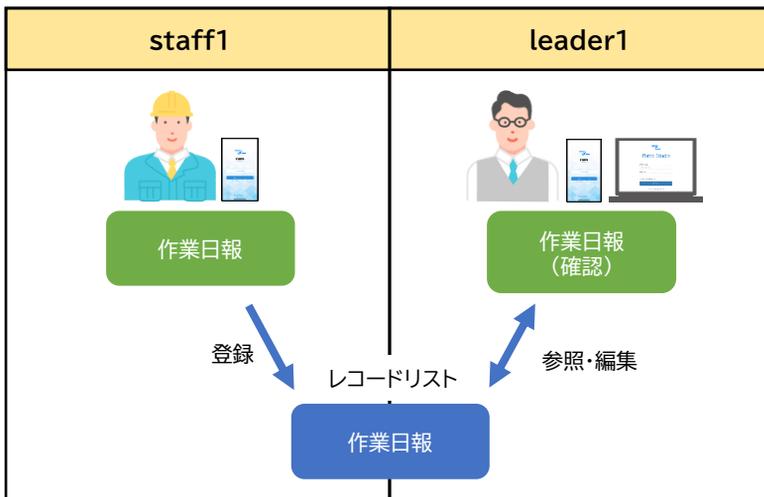
製造業の工場などでの作業者日報を記録・管理するテンプレートです。

工場の生産ラインごとのチームなどで、当日の作業状況を登録し、マネージャーが作業内容・状況を確認・把握します。

登録された日々の歩留まりを製造品目ごとに自動で作成された棒グラフから状況を把握できます。

利用の流れ

- ① スタッフ(**staff1ユーザー**)は[作業日報]データポケットで作業内容を入力して保存します。入力時に開始時間と終了時間から自動で計算された作業時間が設定されます。また、登録された生産数と不良品個数から歩留まりを自動で計算して設定されます。
- ② リーダー(**leader1ユーザー**)は[作業日報(確認)]データポケットで日報の内容を確認します。また、データビューアーでグラフを確認します。必要に応じて、報告結果をデータビューアーでCSVまたはExcel形式でエクスポートして参照します。



データポケット

名前	種類	利用するユーザー
作業日報	主	staff1
作業日報(確認)	副(作業日報)	leader1

ユーザー/プロフィール

名前	管理者	プロフィール	プロフィールで利用できるデータポケット
leader1	✓	リーダー	作業日報(確認)
staff1		スタッフ	作業日報

【テンプレートの特長キーワード】

グラフ 計算・Platio式 副データポケット 一覧シーンの表示フォーマット 初期値

ミニアプリ概要

◆ 作業日報データポケット [主]

スタッフが作業内容を入力して保存します。入力時に、開始時間と終了時間から作業時間、生産数と不良品個数から歩留まりを自動で計算して設定されます。

フィールド	型: [プロパティ]別データポケット参照先	[プロパティ] 同データポケット参照先
報告日	日付	
開始時間	時間	
終了時間	時間	
作業時間	テキスト生成	[値]開始時間、 終了時間
報告者	ユーザー	
指示No	テキスト	
製造品目	テキスト選択	
機器No	スイッチ	
作業工程	テキスト選択	
実績(生産数)	数値	
ロス(不良品個数)	数値	
不良要因	複数テキスト選択	
報告内容	複数行テキスト	
歩留まり(集計)	数値計算	[値]実績(生産数)、 ロス(不良品個数)

◆ 作業日報(確認)データポケット [副]

[作業日報]データポケットの副データポケットです。
リーダーが日報の内容を確認します。

■ グラフ「作業日報」

割り当ての項目から棒グラフが自動生成されて、データビューアーで確認できます。

項目	値
種類	棒グラフ
割り当て:分類(X)	報告日
割り当て:値(Y)	歩留まり(集計)
割り当て:項目	製造品目
ページごとの分類数	30
積み上げグラフ	オフ

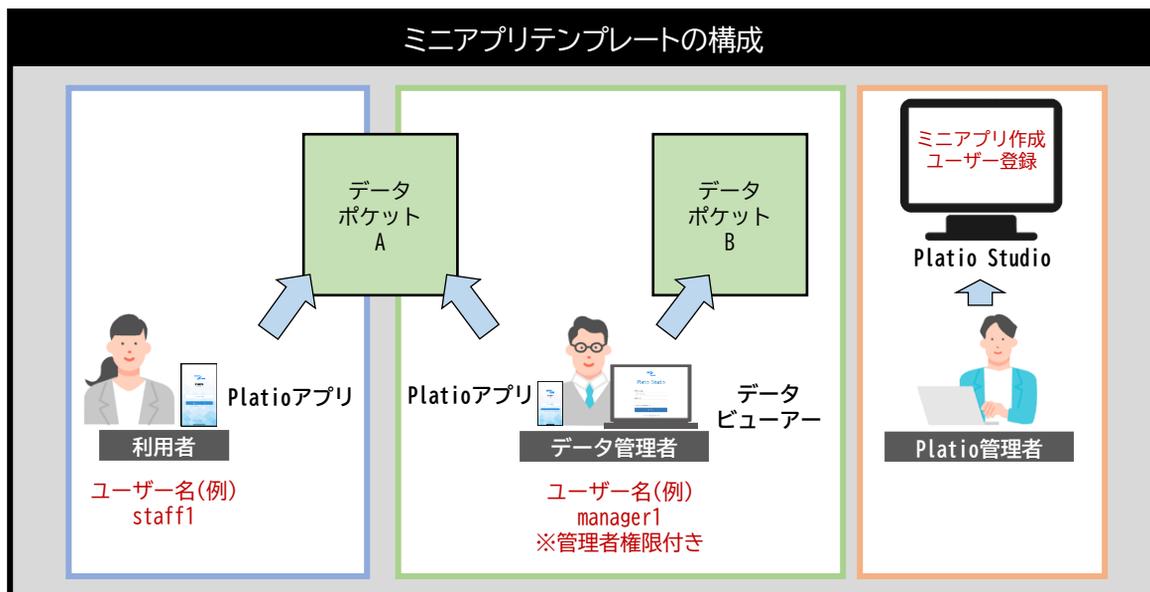
操作手順

利用の流れ

- ① [事前準備] **Platio管理者**が、**Platio Studio**にアクセスしてミニアプリを作成してデータポケットを使用するユーザーアカウントを登録します。
- ② **データ管理者**は、PCのWebブラウザから**データビューアー**にアクセスしてデータポケットのレコードを管理できます。
- ③ **利用者**は、**Platioアプリ**からミニアプリにログインして データポケットにデータを作成・編集します。

ユーザーは、データビューアーとPlatioアプリへログインできます。(データビューアーへのログインを許可しないようにすることもできます。)

ミニアプリテンプレートの構成



ここでは、「勤怠連絡」テンプレートを例にミニアプリの作成からPlatioアプリユーザーへの配布までをご説明します。

Platioの無料トライアルの申込み、利用の流れについては「スタートアップガイド」をお読みください。
<https://plat.io/ja/support/guide>

Platio管理者が、Platio Studioでミニアプリを作成します。



● Platio Studioへログイン

<https://studio.plat.io/>

ログイン後の画面で、右上の「ミニアプリを作成」をクリックして進めます。

※ アカウント情報はトライアル申込み時に送られてきたメールをご確認ください。

ミニアプリの作成



● ミニアプリを作成

ミニアプリを作成するウィザードで、ミニアプリテンプレートを選択します。

右下の「テンプレートを選択」をクリックし、表示されたミニアプリの作成画面でミニアプリの名前を任意に編集して、ミニアプリを作成します。

ミニアプリの作成



● サンプルのユーザーを追加

ユーザーをそのまま使う場合はユーザーの名前とパスワードをメモしておきます。

ここで作成するユーザーはサンプルとして動作確認に使用します。モバイルアプリの動作確認の後、引き続き使うこともできますし、削除して新規にユーザーを追加することもできます。

ここでユーザーを追加すると、登録したメールアドレスに招待メールが届きます。届いたメールは保存しておいてください。なお、招待メールの送信を中止することはできません。

ミニアプリの作成



● ミニアプリの作成を完了

「完了」をクリックすると、作成したミニアプリのデータポケット一覧が表示されます。

※ ミニアプリを作成・編集して利用可能な状態にすることを「配布」といいます。

これで、ミニアプリを作成・配布し、アプリユーザーの登録が完了しました。



データポケット一覧



ユーザー一覧



データポケット一覧



プロフィール一覧



以上で、ミニアプリの確認は完了です。

次は、データビューアーへログインする手順を説明します。

- ユーザーを確認
データポケット一覧で右メニューの「ユーザー」をクリックしてユーザーを確認します。

端末のPlatioアプリへログインするユーザーの一覧です。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。

- プロファイルを確認
「プロフィール」をクリックしてプロフィールを確認します。

各プロフィールが設定されたユーザーが利用可能なデータポケットを確認できます。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。

- データポケットを確認
データポケット名をクリックして、データポケットのレコード内容(各フィールド)を確認します。

上部で、データポケットの各フィールドを確認します。

下部で、Platioアプリで表示されるシーン(画面)をプレビューでき、シーンの各種設定を行います。

データビューアーは、データポケットのレコード管理をPCのWebブラウザから行うツールです。

データビューアーへは、主に管理者のユーザーでログインします。

【Platio Studio】



Platio Studioの「データビューアー」のリンクからミニアプリのデータビューアーへアクセスし、ログイン画面からログインします。

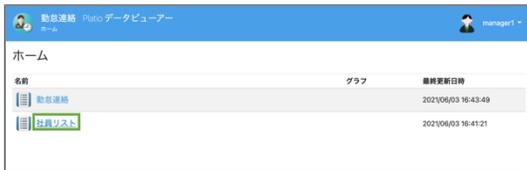
PCのメールソフトで招待メールを受信して、本文のリンクからもアクセスできます。

【データビューアー】



ブラウザの新しいタブにデータビューアーのログイン画面が表示されます。ユーザー情報を入力してログインします。

※ Platio Studioユーザーではなく、Platioアプリのユーザーでログインします。



データポケット一覧でデータポケット名をクリックします。



データポケットのレコード一覧画面が表示されます。右上の「作成」または「インポート」からデータを登録できます。

※ インポートではあらかじめCSVの形式でファイルから登録することができます。



「インポート」をクリックして表示されたレコードのインポート画面で、インポートできるCSVの形式が確認できます。

以上で、データビューアーの確認は完了です。

次は、Platioアプリを使う手順を説明します。



サンプルユーザーでアプリを使ってみましょう

利用する端末に**Platioアプリ**をインストールしてください。
インストールについては「**スタートアップガイド**」をお読みください。
<https://plat.io/ja/support/guide>

サンプルユーザーでPlatioアプリを使ってみましょう。
ユーザー情報はPlatio Studioのメニュー「ユーザー」で確認できます。



メール画面

ユーザーを追加したときに指定したメールアドレスに招待メールが送信されています。
届いた招待メールの本文にあるミニアプリのQRコードを**Platioアプリ**で読み取ります。

端末のPlatioアプリを起動して「QRコードをスキャン」をタップしてQRコードを読み取ります。

または、以下のように**Platio Studio**のサイドメニューのアプリリンクからもQRコードを表示できます。



メール画面

Platioアプリ

Platioアプリと同じ端末でメールを表示した場合、ミニアプリ名のリンクをタップするとPlatioアプリが起動してミニアプリのログイン画面が表示されます。

Platioアプリでミニアプリのログイン画面が表示されます。

ユーザー情報を入力してログインします。

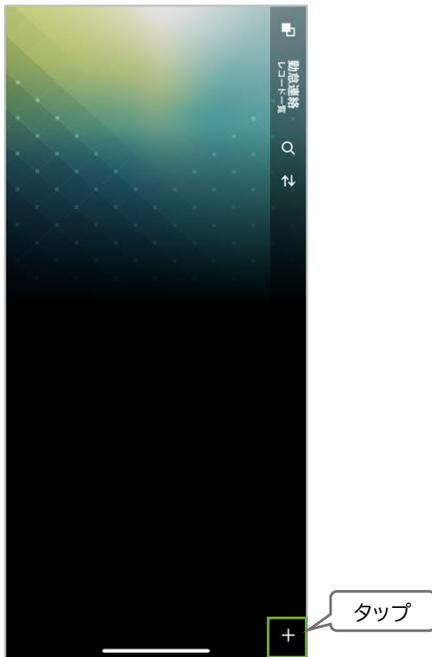


Platioアプリ <各種シーンと操作>

Platioアプリにログインすると、Platio Studioで指定された最初のシーンが表示されます。表示されるシーンは、ミニアプリごとに異なりますが、入力シーンまたは一覧シーンが表示されます。

● 一覧シーン

何も表示されない場合は、登録されたレコードが無い状態です。レコードを入力するには、右下の「+」をタップします。



● 入力シーン

データを入力する各フィールドが表示されています。入力したデータを保存するには、右下の「✓」をタップします。



● シーンを閉じる(前に戻る)
シーンを閉じるには、タップしながら上から下にスライドします。



● 入力をキャンセルする
シーンを閉じるには、上から下にスライドして表示された「×」をタップします。





Platioアプリ <一覧シーンで検索・並び替え>



- 一覧から検索
検索アイコンをタップします。
検索ワードを入力するか、またはタップして表示される定義された検索条件をタップすると、検索した結果の項目が表示されます。

※ Platio Studioで検索可能と設定したフィールドが検索できます。



- 一覧を並び替え(ソート)
ソートアイコンをタップします。

並び替えできる項目が表示されます。昇順・降順のアイコンをタップすると、並び替えて表示されます。

※ Platio Studioでソート可能と設定したフィールドが検索できます。

データポケットやミニアプリの設定を変更したい

初めてPlatioを操作するときは「Platioスタートアップガイド」をお読みください。

データポケットにフィールドを追加したりPlatioアプリでの見た目を変更したり、ミニアプリに機能を追加したり、ミニアプリを編集することができます。
次のステップとしてPlatioの機能を活用したい場合は「Platioステップアップガイド」をご一読ください。Platioでよく使われる機能について追加・変更などの手順を説明しています。

◆ Platioスタートアップガイド

はじめてPlatioをお使いになる方向けの、Platioの概要とPlatioを使いながら全体の流れを説明するガイドです。

<https://plat.io/ja/support/guide>

◆ Platioステップアップガイド

スタートアップガイドで解説したPlatioの概要と利用の流れを理解した方向けの、ミニアプリテンプレートを元にPlatioのさまざまな機能の設定について手順を解説するガイドです。

<https://plat.io/ja/support/guide#platiostepguide>

Platioに関するお問い合わせ:[お客様ログイン]からお問合せフォームにてお問合せください。
<https://asteria.com/mng/login>

Platioの各種ガイド、FAQ:[Platioヘルプセンター]
<https://plat.io/ja/support/guide>

Platioに関する情報(事例、リリース情報など):
<https://plat.io>